

課題対応取組み報告書

名称	東成区南部地域包括支援センター
提出日	令和 5 年 7 月 5 日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	☒ 地域や専門職とのつながり等	☐ 社会資源の創設（居場所づくり等）
	☐ 認知症高齢者等の支援	☐ 自立支援・介護予防・健康づくり等
	☐ その他（ ）	
活動テーマ	支援を必要とする高齢者の早期発見、対応への取組み	
地域ケア会議から 見えてきた課題	① 認知症の症状から判断力が低下し、金銭管理や環境整備ができず、日常生活に支障がでている。特に地域とのつながりが希薄な高齢者は社会から孤立しがちとなるため、早期発見に至っていない。 ② コロナ禍において、活動量が減少し、筋力低下・外出意欲の低下がある。	
対象	① 地域活動者や地域住民、 ② 高齢者に関わる支援関係者	
地域特性	東大阪市、生野区に隣接している。主要道路の集まる今里交差点があり、区役所や公的機関、圏域内を東西に横断する商店街がある。近鉄、地下鉄・今里ライナー、大阪シティバスが主要な交通手段となっている。旧市街地では戦禍を免れたため、古い木造住宅が密集している地域がある。圏域の高齢化率は27.4%（H27年国勢調査データ）となっている。各小学校下に地域福祉活動サポーターが常駐配置され、地域ケアネットワーク連絡会で情報共有できている。	
活動目標	① 孤立しがちな高齢者（世帯）を実態把握する。 ② 地域行事や出張相談等で、支援が必要な高齢者を早期発見する。 ③ 介護予防・フレイル予防について啓発する。	
活動内容 (具体的取組み)	① 地域ケアネットワーク連絡会で、孤立しがちな高齢者（世帯）の実態把握 各小学校下の連絡会に計38回出席し、孤立しがちな高齢者等の聴き取りを行った。 ② 各地区民生委員・児童委員協議会で包括・ランチの周知 各地区民生委員・児童委員協議会（片江地区除く）へ各2回参加し、個別ケース相談状況について伝え、周知を行った。 ③ 地域活動（いきいき教室、ふれあい喫茶等）でのセンター周知 地域担当のスタッフが各地域の地域活動でセンター周知を行った。 ④ そなエール！（高齢者の介護（予防）・生活出張相談所）で出張相談を開催 毎月、東成しんみちPATRIにおいて出張相談会を開催し、高齢者の声を聴いた。 ⑤ 地域包括支援センターだよりの配布 介護予防・フレイル予防、権利擁護に関する記事を掲載し、高齢者やその家族、地域住民、町会回覧、区役所、老人福祉センター、介護支援専門員等へ配布、配架した。	
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	① 地域ケアネットワーク連絡会では、認知症（疑合）の高齢者、道迷いがある高齢者、引きこもりや生活状況に複合的な課題がある世帯等を把握し、必要に応じて相談対応した。 ② 民生委員・児童委員協議会后、民生委員より高齢者虐待の相談、気になる高齢者の相談があった。 ③ 地域活動へ参加し、センター周知に加え、介護予防・フレイル予防、権利擁護についても啓発した。高齢者自身の相談、参加者から気になる高齢者に関する相談があった。	
今後の課題	① これまでは支援を必要とする高齢者の早期発見にむけた取組みをしてきた。引き続き取組みは必要であるが、団塊世代が75歳を迎える今後は高齢者（これから高齢者になる人も含む）やその家族が、将来・要介護状態になったときの暮らしへの心構えを持ち、備えを促す取組みが必要である。 ② 突然始まる介護、身近な介護に備えるため、日頃から家族・親族間でこまめなコミュニケーションを促す取組みが必要である。	
※以下は、区運営協議会事務局にて記入		
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和 5 年 7 月 2 5 日（火）	
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	☒ 地域性 ☒ 継続性 ☒ 浸透性・拡張性 ☒ 専門性 ☒ 独自性	
評価できる項目（特性） についてのコメント	・地域ケア会議から傾向分析された、地域とのつながりが希薄な高齢者の早期発見やコロナ禍での健康維持が、課題として設定され、地域性・継続性のある取組みがなされている。 ・毎月センターだよりを作成し、介護・フレイル予防、権利擁護に関する啓発を地域住民とともに、地域のケアマネジャーも含めもれなく啓発していることから、浸透性・拡張性がある。 ・しんみちPATRIの出張相談会についても継続して開催され、地域に出向いて様々な相談に対応されていることは地域への浸透性や独自性として評価できる。 ・地域ケアネットワーク連絡会への出席による、高齢者世帯の実態把握や民生委員会協議会等への周知活動によって、孤立した高齢者の早期発見、関係機関の信頼関係の構築につながっていることが評価できる。 ・また、地域ケアネットワーク連絡会などで高齢者の複合的な課題のある世帯への相談支援がなされていることから、専門性や独自性も評価できる。 ・支援が必要な高齢者の早期発見のためにも引き続き関係機関と連携し、また地域住民へ、将来の備えを促す取組みについて幅広く周知できるよう願いたい。	
* 今後の取組み継続に向けて、区地域包括支援センター運営協議会からの意見等を記載。		